

紀南病院での 1 か月の地域医療研修はあっという間でした。研修するにあたり私はテーマとして研修している四日市との地域や病院としての違いを挙げていました。病棟管理、救急外来、診療所研修を中心に学ばせていただきましたが、一番違いを感じたのが地域全体で患者さんを支えていることです。高齢者の割合が多いことや医療機関が少ないため、退院後のことも考え職種関係なく連携することが大切だと感じました。救急の現場でも転院搬送も多く、その場合距離も長くなるため他院や消防隊との連携もより重要になると感じました。診療所ではたくさんの高齢者にお会いしましたが、90 代の方でも四日市ではあまり考えられないほどお元気な方が多く、私は恥ずかしながら 20 代ですが負けてられないと感じ大きなパワーをもらいました。休日には周辺の様々な地域を巡りました。海や山、川の水もとてもきれいで、ごはんもおいしく地元の方はとても優しく接してくださいました。市立四日市では ER を中心とした研修を送っていますが、紀南病院へ来るまで経験できなかったこと、気づけなかったことはとても多く、ここで学んだことを活かしてこれからの診療に携わりたいと思っています。最後になりますが指導医の渡邊大和先生をはじめ、優しくご指導してくださいました先生方、スタッフの方々誠にありがとうございました。



令和 3 年 8 月

研修医通信 Vol.111

私は三重県の津市出身ですが、研修で紀南病院に来るまであまりこの地域のことを知りませんでした。紀南に来るときに高速道路でトンネルを抜けるたびに不安になったことを思い出します。しかし、研修が始まり、地域の人々と触れ合うにつれ、不安な気持ちはなくなって楽しい研修となりました。楽しくなったのはやはり地域の人々のあたたかさに触れたことが一番の理由だと思います。診療所研修では設備の少ない中での診療という貴重な体験ができました。また、研修以外でも地域の美味しいものを食べたり、温泉に行ったりと地域を五感で味わうことができ、この地域が好きになりました。普段の研修病院とは違う環境下で、なかなか慣れずに苦労したこともありましたが、そんな中でも優しくご指導いただいた先生方や紀南病院のスタッフの方々には感謝の気持ちでいっぱいです。本当にありがとうございました。あっという間の 1 ヶ月でした。また、今回の研修期間に行けなかった場所にもまた行きたいと思います。今回の研修で学んだことを生かしながら力をつけて、また紀南病院に来ることができるように精進します。

1 か月間と短い期間でしたが、無事に紀南病院での実習を終えることができました。母が新宮出身ということもあり、御浜町周辺の景色には馴染みがありましたが地域に溶け込む生活は初めてで、今回多くの事を学び、経験させて頂きました。救急外来では患者をドクターヘリに搬入するまでの過程や、新宮医療センターや伊勢赤十字病院までの救急車同乗を経験させて頂きました。診療所での研修では、最小限の医療設備しかありませんでしたが、まず先生がその患者の歴史、家族構成、生活スタイルまでも熟知しており、患者さんとの何気ない日常会話や身体所見から病態を把握し、内服薬等の調節を行っていることに感銘を覚えました。コミュニケーションは立派な医療器具になると感じました。また患者さんは、超ご高齢にもかかわらず、みなさん足腰がしっかりしており、頭もはつきりしていることに驚かされました。そして、ご自身の病態もしっかり把握されており、この地域の人々の健康寿命が長い要因のひとつになっているに違いないと感じました。神川診療所での実習で、とある 95 歳前後のおじいちゃんのお宅にお邪魔させていただいたのですが、お話を聞いていくうちに、そのご老人は僕が歯学部に通っていた時の大親友のおじいちゃんと分かったことが、今回の実習での一番の驚きでした(笑)。彼とは最近連絡をとっていなかったのですが、いつの間にか結婚して、パパになっていて。かわいい息子ちゃんの写真も見せてもらいました。「K 君、おめでとう！」最後になりますが紀南病院の先生方、スタッフさん、そして指導医の杉岡先生、眼科の間瀬先生、1 か月間大変お世話になりました。優しく接していただき、そして丁寧に色々教えて頂き、とても充実した 1 か月間を過ごすことができました。ここで感じたことを忘れず、これからのドクター人生に活かしていきたいと思っています。有り難うございました。

